

かえる便り 30年度5号

平成30年5月3日

新緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

緑が美しく爽やかな風が吹く三瓶で恒例の合宿を行いました。一人ひとりが明確な目的意識を持って“未見の我”を知る努力をするよう伝え合宿をスタートしました。最終日に雨が降る予報でしたので、登山は二日目の午前中に行いました。登山でかなり足に負担がかかっていましたが、午後の3km走では6割以上の部員が前日の記録を上回りました。

退所点検において、職員さんが『挨拶・片付けがよかった団体は初めてです。

大変素晴らしい!!』とお褒めの言葉をいただきました。“完璧にやろう”と言いながら片付けていたそうです。当たり前のことを当たり前にするのは普通のことですが、その普通のことをよりよくしてやろうという意識があったから行動が変わったのだと思います。



先日は保護者会を開いていただき、多くの皆様と親睦を図ることができ感謝しております。過去最高の参加人数であり、驚きと同時に責任の重さを痛感しました。

部員達の心構えを少しでも変え高めさせ、主体的に行動し、自分自身に“感動できる”存在にさせられるようサポートをしていきたいと思ひます。

あなたがそこに ただいるだけで その場の空気が明るくなる

あなたがそこに ただいるだけで みんなのところがやすらぐ

そんなあなたに わたしになりたい

「○○のようになりたい」と思う自分にするのは“己の努力”と、周囲の協力と応援があってそのような自分に「成らせてもらう」のだと思います。どのような人物、選手、チームにしたいかは、意識次第で変わります。今回の合宿では、勉強時間も凄い緊張感を持って取り組んでいたそうです。勉強指導の応援に三瓶まで来ていただいた河野・桜井先生も感心されていました。

多くの保護者様、先生方のご支援があって充実した合宿にすることができました。また、5人の卒業生がわざわざ三瓶まで差し入れを持って来てくれました。夜遅く来てくれたOBもいます。部員達も“上の詩のような心”を感じてくれたのではないのでしょうか？本当にありがとうございました。